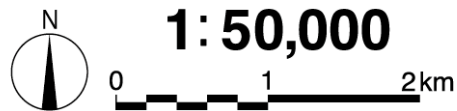


凡 例

- ★ : 対象事業実施区域
- : 大気環境測定局

図 2-1-3 大気環境測定局の位置



出典：「大気汚染測定結果報告」（新潟県、平成 19 年～23 年）

1) 二酸化硫黄

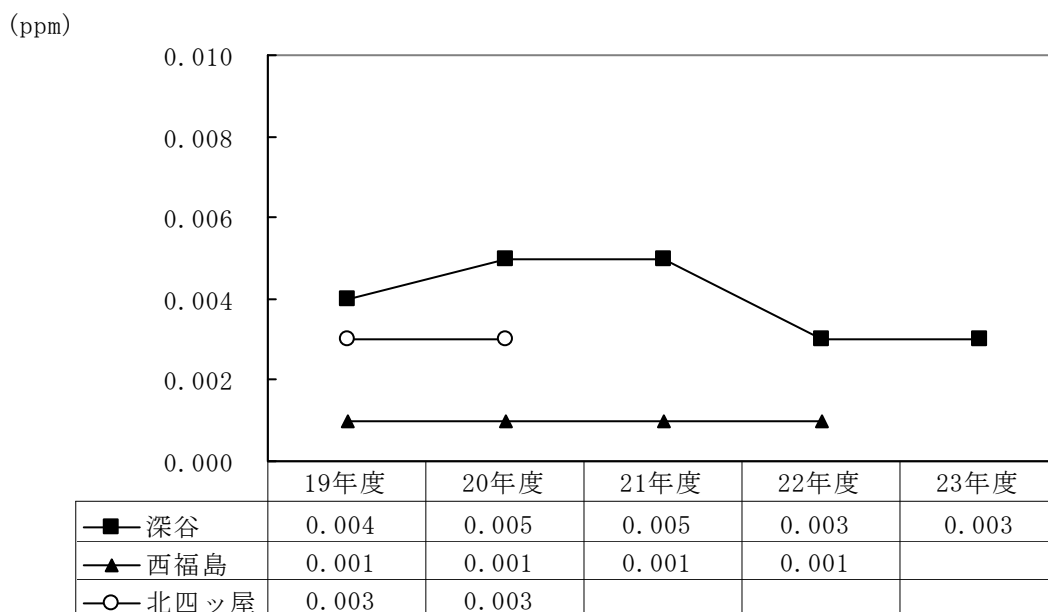
平成23年度における二酸化硫黄の測定結果を表2-1-5、年平均値の経年変化（平成19年度～平成23年度）を図2-1-4に示す。

平成23年度は深谷局で長期的評価*に基づく環境基準*（日平均値の2%除外値* 0.04ppm*以下、日平均値0.04ppm以上の日が2日以上連続しないこと）及び短期的評価*に基づく環境基準（1時間値*0.1ppm以下、日平均値0.04ppm以下）を達成した。年平均値の経年変化は横ばいの傾向にあった。

表 2-1-5 二酸化硫黄測定結果（平成23年度）

測定局	有効測定時間	年平均値	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の年間2%除外値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価
	時間		ppm	時間	%	日				
深谷	8,656	0.003	0	0	0	0	0.015	0.005	無	○

出典：「大気汚染測定結果報告」（新潟県、平成24年12月）



出典：「大気汚染測定結果報告」（新潟県、平成19～23年度）

図 2-1-4 二酸化硫黄の経年変化（年平均値）

2) 二酸化窒素

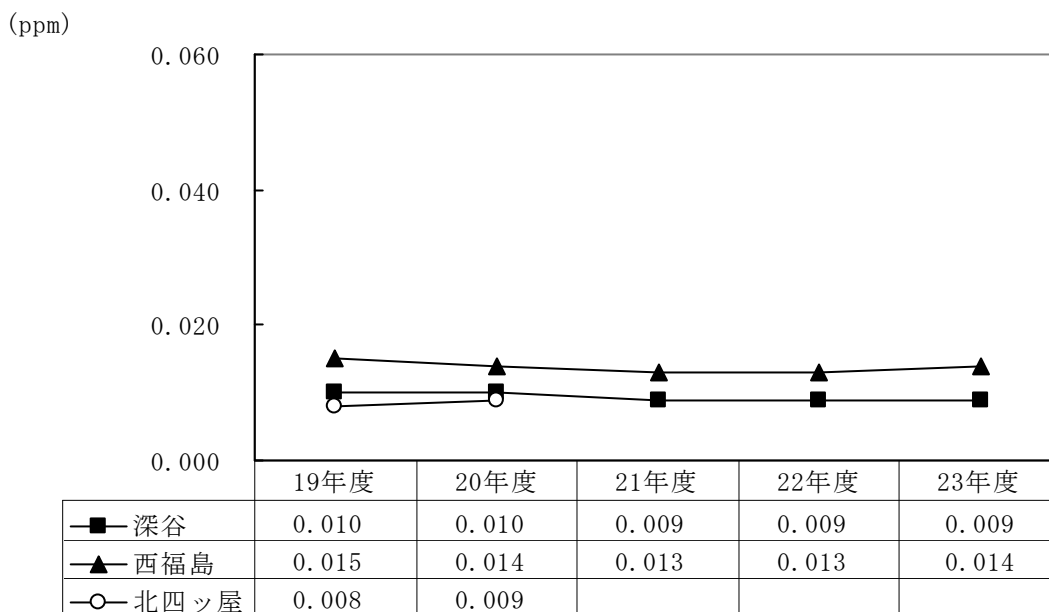
平成23年度における二酸化窒素の測定結果を表2-1-6、年平均値の経年変化（平成19年度～平成23年度）を図2-1-5に示す。

平成23年度は2測定局で環境基準（日平均値の年間98%値*が0.04～0.06ppmのゾーン内又はそれ以下）を達成した。年平均値の経年変化は全測定局とも横ばいの傾向にあった。

表 2-1-6 二酸化窒素測定結果（平成23年度）

測定局	有効測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		日平均値の年間98%値	環境基準の長期的評価
	時間			ppm	ppm	日	%		
深谷	8,659	0.009	0.065	0	0	0	0	0.022	○
西福島	7,267	0.014	0.066	0	0	0	0	0.026	○

出典：「大気汚染測定結果報告」（新潟県、平成24年12月）



出典：「大気汚染測定結果報告」（新潟県、平成19～23年度）

図 2-1-5 二酸化窒素の経年変化（年平均値）

3) 浮遊粒子状物質

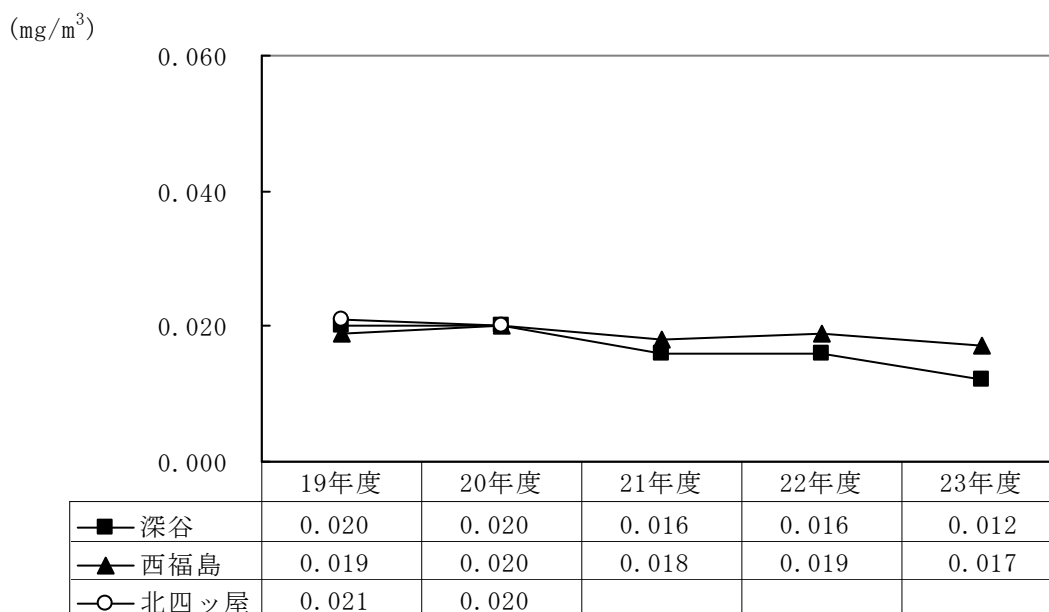
平成23年度における浮遊粒状物質の測定結果を表2-1-7、年平均値の経年変化（平成19年度～平成23年度）を図2-1-6に示す。

平成23年度は2測定局とも長期的評価に基づく環境基準（日平均値の2%除外値0.10mg/m³以下、日平均値が0.10mg/m³以上の日が2日以上連続しないこと）と、短期的評価に基づく環境基準（1時間値0.20mg/m³以下、日平均値0.10mg/m³以下）を達成した。年平均値の経年変化は2測定局とも横ばいの傾向にあった。

表 2-1-7 浮遊粒子状物質測定結果（平成23年度）

測定局	有効測定時間	年平均値	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の年間2%除外値	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続したことの有無	環境基準の長期的評価
			時間	%	日	%				
深谷	8,737	0.012	0	0	0	0	0.171	0.039	無	○
西福島	8,734	0.017	0	0	0	0	0.168	0.040	無	○

出典：「大気汚染測定結果報告」（新潟県、平成24年12月）



出典：「大気汚染測定結果報告」（新潟県、平成19～23年度）

図 2-1-6 浮遊粒子状物質の経年変化（年平均値）

4) 光化学オキシダント*

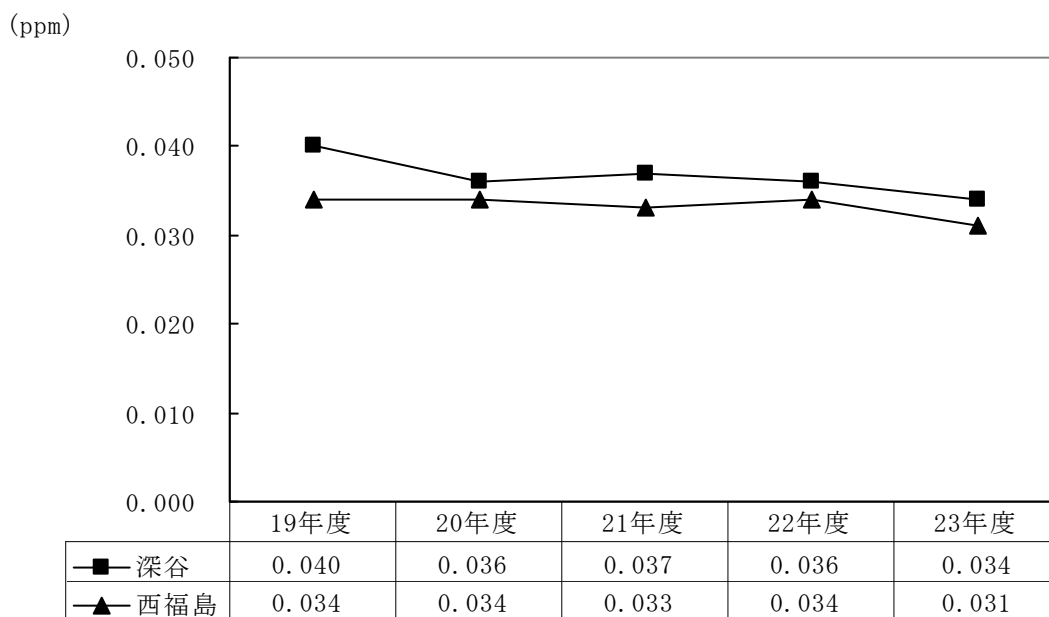
平成23年度における光化学オキシダントの測定結果を表2-1-8、年平均値の経年変化(平成19年度～平成23年度)を図2-1-7に示す。

平成23年度は2測定局で環境基準(1時間値0.06ppm以下)を達成しておらず、1時間値が0.06ppmを超えた時間は深谷局では196時間(3.6%)、西福島局では163時間(3.0%)であった。年平均値の経年変化は深谷測定局ではやや減少の傾向にあり、西福島測定局では横ばいの傾向にあった。

表 2-1-8 光化学オキシダント測定結果(平成23年度)

測定局	昼間測定時間	昼間の1時間値の年平均値 ppm	昼間の1時間値が0.06ppmを超えた日数と時間数		昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数と時間数		昼間の1時間値の最高値 ppm	環境基準の評価
	時間		日	時間	日	時間		
深谷	5,440	0.034	47	196	0	0	0.094	×
西福島	5,442	0.031	47	163	0	0	0.089	×

出典：「大気汚染測定結果報告」(新潟県、平成24年12月)



出典：「大気汚染測定結果報告」(新潟県、平成19～23年度)

図 2-1-7 光化学オキシダントの経年変化(年平均値)

5) ダイオキシン類*

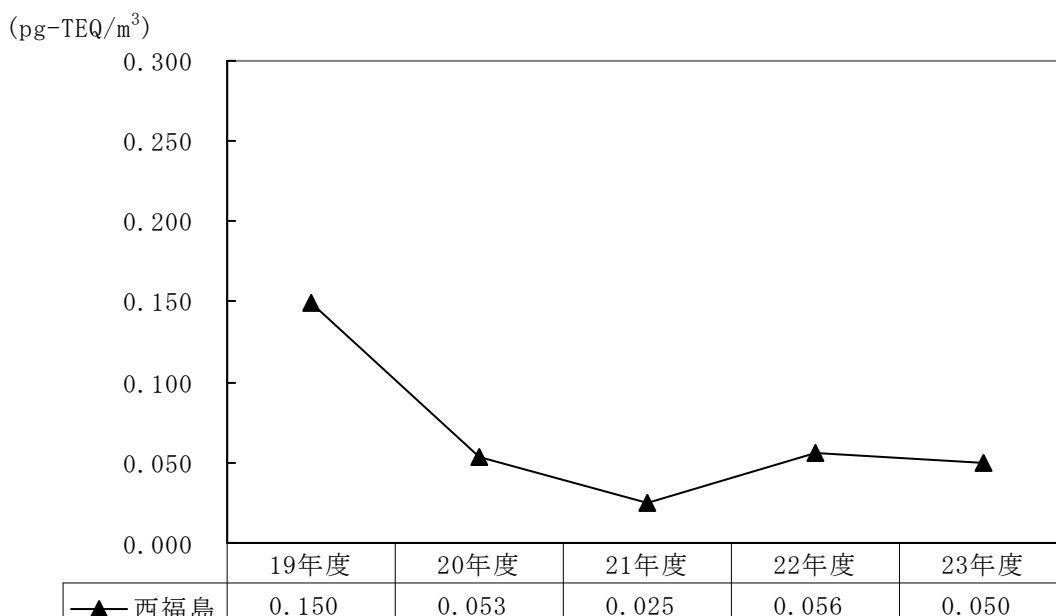
平成 23 年度におけるダイオキシン類の測定結果を表 2-1-9、年平均値の経年変化(平成 19 年度～平成 23 年度)を図 2-1-8 に示す。

平成 23 年度の年平均値は 0.05pg-TEQ/m³と環境基準(0.6pg-TEQ/m³以下)を達成した。

表 2-1-9 ダイオキシン類測定結果(平成 23 年度)

測定局	季別測定結果				年平均値 (pg-TEQ/m ³)
	春季	夏季	秋季	冬季	
西福島	0.042	0.027	-	0.08	0.05

出典：「大気汚染測定結果報告」(新潟県、平成 24 年 12 月)



出典：「大気汚染測定結果報告」(新潟県、平成 19～23 年度)

図 2-1-8 ダイオキシン類の経年変化(年平均値)

(3) 騒音*の状況

1) 環境騒音*

上越市における公害に関する苦情の受理状況は前掲表 2-1-3 (p2-5) に示したとおりであり、平成 23 年度における公害苦情受理件数 52 件のうち、騒音に関するものは繰越 1 件を含む 16 件であった。

上越市では環境騒音の実態を把握するため、平成 24 年度は一般地域 7 地点で調査が行われており、このうち対象事業実施区域周辺では 1 地点で測定が行われている。対象事業実施区域周辺の測定地点を図 2-1-9、平成 24 年度の測定結果を表 2-1-10 に示す。

平成 24 年度は頸城区西福島 947-2 で、環境基準を達成した。

表 2-1-10 環境騒音の測定結果 (平成 24 年度)

No.	地域の 類型	所在地	測定結果 (dB)		環境基準 (dB)		環境基準 達成状況
			昼間	夜間	昼間	夜間	
1	C	頸城区西福島 947-2	53	43	60	50	達成

注1) 時間区分は昼間が6時～22時、夜間が22時～6時である。

2) 騒音レベルは等価騒音レベル (Leq) である。

3) 番号は図 2-1-9に対応する。

出典：「高速自動車道騒音測定結果・環境騒音測定結果」 (上越市環境保全課、平成24年)

2) 高速自動車道騒音

上越市では高速自動車道の騒音の実態を把握するため、平成 24 年度は 10 地点で調査が行われている。このうち対象事業実施区域周辺では 2 地点で測定が行われており、その測定地点を図 2-1-9、平成 24 年度の測定結果を表 2-1-11 に示す。

平成 24 年度は全測定地点で環境基準又は想定した環境基準を達成した。

表 2-1-11 高速道路騒音の測定結果 (平成 24 年度)

No.	地域の 類型	所在地	測定結果 (dB)		環境基準 (dB)		環境基準 達成状況
			昼間	夜間	昼間	夜間	
2	B	頸城区上三分一 6	55	53	70※	65※	達成
3	B相当	頸城区手宮 160	52	49	65	60	達成

注1) 時間区分は昼間が6時～22時、夜間が22時～6時である。

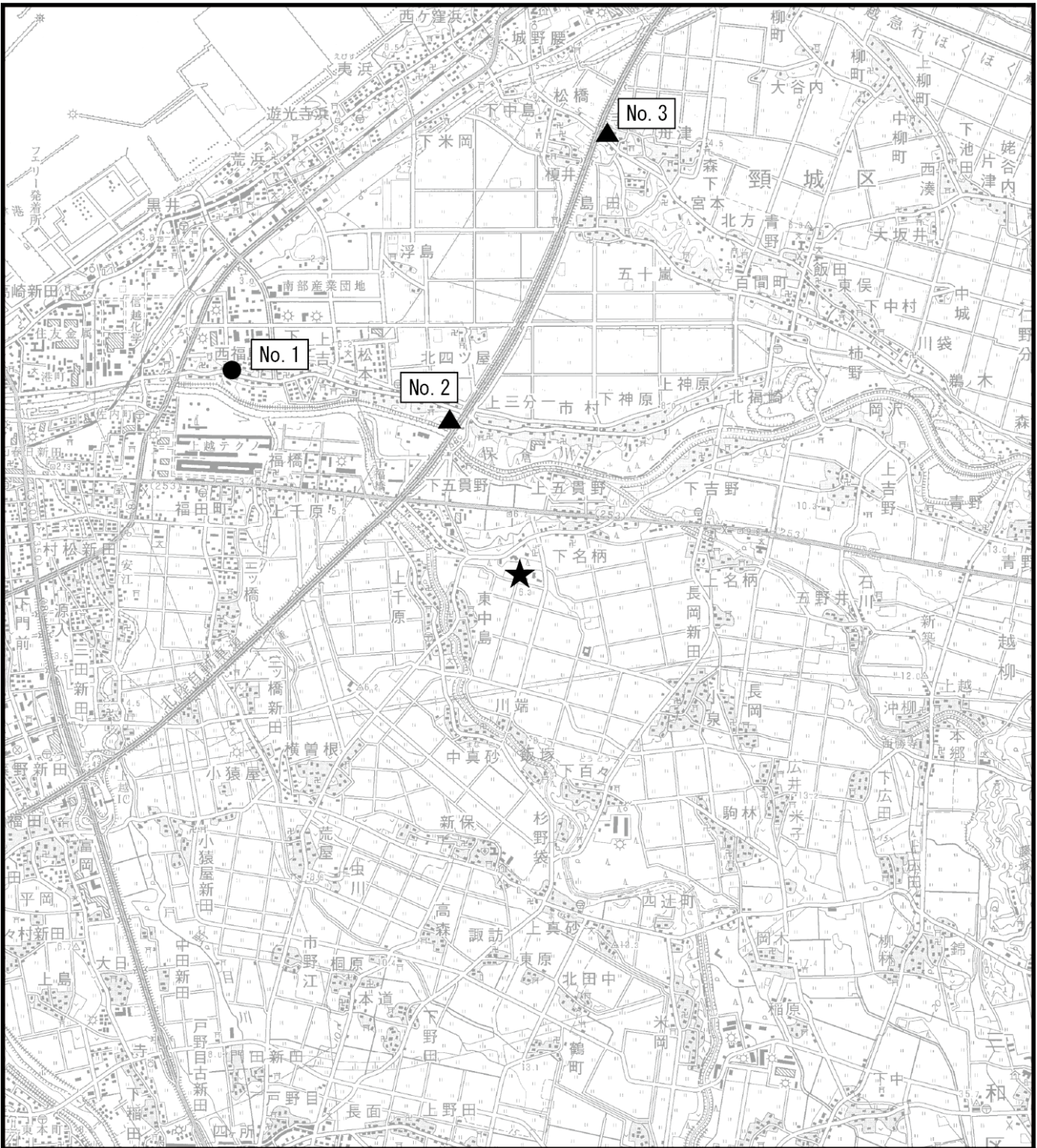
2) 騒音レベルは等価騒音レベル (Leq) である。

3) 地域の類型の「相当」とは、地域類型指定のない地域であるため、類型指定を想定して環境基準との比較を行ったことを示す

4) ※は幹線交通を担う道路に近接する空間の基準値に該当する地点であることを示す。

5) 番号は図 2-1-9に対応する。

出典：「高速自動車道騒音測定結果・環境騒音測定結果」 (上越市環境保全課、平成24年)



凡 例

- ★ : 対象事業実施区域
- : 環境騒音調査地点
- ▲ : 高速道路沿道地域騒音調査地点

番号は表 2-1-10 及び表 2-1-11 に対応する

図 2-1-9 騒音調査地点

出典：「高速自動車道騒音測定結果・環境騒音測定結果」
(上越市環境保全課、平成 24 年)

